

特別な修学旅行

3年生修学旅行担当

生徒にとって中学校での修学旅行は一生に一度きり。一度きりだからこそ特別な修学旅行であってほしい。そんな想いが通じたのか、今年の修学旅行はとても特別なものになりました。7個の“特別”なことが起きた修学旅行を振り返ります。

【① 特別な事前学習】

まず、事前学習では特別授業が行われました。特別授業では、学年の教員と校長先生、副校長先生が15分～20分ずつ各クラスを回り授業を行いました。今まであった京都・奈良に対する固定概念を変えるような様々な題材に釘付けになりました。何より、普段受けることのない、校長先生や副校長先生による授業は特別なものとなったはずです。



また、環境問題と関連付け、エコバッグを持参して買い物袋をもらわない取組みも行いました。全員おそろいのエコバッグは特別な思い出の品になります。

【② 特別な移動】

修学旅行当日も特別でした。大型で強い台風24号の影響で、JRが史上初の計画運休を前日20時に言い、修学旅行初日は、JRが発発から全線運転見合わせという前代未聞の中、始まりました。鉄道が見合わせや遅延する中、生徒は当初予定のルートを変更し、東京駅に向かいました。遅延の影響で、開校式ができないというハプニングが起きましたがギリギリ乗車を完了しほぼ定刻通り東京駅を発車。ところが乗車していない人が2人いたのです。A組とC組の担任が新幹線の発車時刻に間に合わず2クラスの担任が不在の中、1日目は進みました。担任のいない修学旅行は特別だったはずです。



【③ 特別な夕日】

1日目の宿泊地は奈良の飛鳥荘。リニューアルされたばかりの清潔感あふれる宿舎でした。奈良で宿泊する利便性は、1日目にゆっくりと奈良を見学できること。利点を生かして新日本三大夜景に選出されている若草山の頂上へ夕日を見に行きました。つい先ほどまで騒がれていた台風を忘れるほどきれいな夕日は特別ものとして脳裏に残ったはずです。また、遅れていた担任2人も無事合流を果たし、1日目は“特別”の連続でした。



【④ 特別な夕食】

2日目の宿泊地は京都のホテルリョウゼン。そもそも、1日目と2日目で宿泊する場所を変えることはありません。1度の修学旅行で2つの宿泊場所に宿泊すること自体特別でした。ホテルリョウゼンでは特別にA4ランクの黒毛和牛のすき焼きを夕食で食べました。疲れと空腹がピークに達した体にとろける牛肉は至福の時間となったはずです。

【⑤ 特別な夜】

その日の夜は、高台寺を貸し切って能を見学しました。伝統芸能の能を歴史のあるお寺を貸し切って見学することはこの先二度とないでしょう。足がしびれながら観た能と特別にライトアップされた庭園は、これから先ずっと記憶に残ることでしょう。



【⑥ 特別な班行動】

3日目は班別タクシー行動でした。1班1台ずつタクシーに乗り、見学地を回りました。運転手さんの詳しい説明と優しさに触れ、京都の人の温かさを感じた半日になりました。

今回の修学旅行では、全日班行動を実施しました。たくさんのトラブルがあったものの、班員と協力し合って乗り切る姿は、3年間の集大成の行事でこそ見られるものです。初日に比べると最終日は立派に成長していました。

【⑦ 特別な事後学習】

学校に戻ってきてからも特別なことが待っていました。事後学習は各班で発表形式を考え、まとめるのです。中には、テレビ番組風に発表をする班や映画を作る班、絵本を描く班など様々です。今回の修学旅行が特別だったからこそ、思考を凝らした特別な発表になるのです。

今年は明保中学校が開校されて40年目の節目の年。この段階で特別感満載ですが「特別な年だからこそ特別な修学旅行」を。そんな想いで計画し、「習学良好」というスローガンのもと実施した修学旅行ですが、生徒たちの中で3日間が特別なものになり習学良好となったのであれば、大成功です。きっとそれぞれが7個以上の特別な体験をしたはずです。この特別な3日間が、卒業までの残りの生活に生かすことができるようにしていきます。